



Numerics

- 4K VLAN (4096 個の VLAN サポート) 15-2
- 802.10 SAID (デフォルト) 15-7
- 802.1Q
 - ISL VLAN へのマッピング 15-14, 15-17
 - カプセル化 11-4
 - トランク 11-3
 - 制限事項 11-7
 - トンネリング
 - 概要 18-2
 - 設定時の注意事項 18-4
 - トンネルポートの設定 18-7
 - レイヤ2 プロトコル トンネリング
 - レイヤ2 プロトコル トンネリングを参照
- 802.1Q EtherType
 - カスタム の設定 11-16
- 802.1Q VLAN から ISL VLAN へのマッピング 15-14, 15-17
- 802.1s
 - MST を参照
- 802.1w
 - MST を参照
- 802.1X
 - ポートベースの認証を参照
- 802.1X の許可ポート 47-4
- 802.1X の無許可ポート 47-4
- 802.3ad
 - LACP を参照
- 802.3x フロー制御 10-15

A

- AAA 34-1, 35-1, 37-1, 45-1
- AAA (認証、許可、アカウントिंग) 37-1
- access-enable host timeout (未サポート) 35-3
- ACE および ACL 34-1, 35-1, 37-1, 45-1

aggregate ポリシング

- QoS ポリシングを参照
- Any Transport over MPLS (AToM) 25-15
 - AToM 旧リリースとの互換性 25-17
 - EoMPLS 25-17
- ARP ACL 42-69
- ARP スプーフィング 39-2
- AToM 25-15
- auto-sync コマンド 8-7, 8-8, 9-8

B

BackboneFast

- STP BackboneFast を参照
- boot bootldr コマンド 3-28
- boot config コマンド 3-28
- boot system flash コマンド 3-25
- boot system コマンド 3-23, 3-28
- boot コマンド 3-24

BPDU

- RSTP 形式 20-13
- BPDU ガード
 - STP BPDU ガードを参照

C

CDP

- インターフェイス上でのイネーブル化 49-3
 - 概要 49-2
 - 設定 49-2
 - モニタおよびメンテナンス 49-4
- cdp enable コマンド 49-3
- CEF 27-1
 - 設定
 - MSFC2 27-6
 - スーパーバイザ エンジン 27-6
 - パケットの書き換え 27-2

- 例 27-3
- レイヤ 3 スイッチング 27-2
- CGMP 31-8
- channel-group
 - コマンド 13-8, 13-12
 - コマンド例 13-9
- Cisco Cache Engine 56-2
- Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
- Cisco Express Forwarding 25-3
- Cisco Group Management Protocol
 - CGMP を参照
- Cisco IOS ユニキャスト RPF 34-3
- CiscoView 1-2
- CIST 21-16
- CIST リージョナル ルート
 - MSTP を参照
- CIST ルート
 - MSTP を参照
- class コマンド 42-74
- class-map コマンド 42-65
- clear cdp counters コマンド 49-4
- clear cdp table コマンド 49-4
- clear counters コマンド 10-19
- clear interface コマンド 10-20
- clear mls ip multicast statistics コマンド
 - IP マルチキャスト レイヤ 3 スイッチング統計情報の消去 29-27
- CLI
 - 1 つ前のレベルに戻る 2-6
 - ROM モニタ 2-8
 - アクセス 2-2
 - イネーブル EXEC モード 2-6
 - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-6
 - グローバル コンフィギュレーション モード 2-6
 - コマンドのリスト表示 2-7
 - コンソール コンフィギュレーション モード 2-6
 - ソフトウェアの基本事項 2-5
 - ヒストリ置換 2-4
- Committed Access Rate (CAR; 専用アクセス レート)、サポートなし 42-3
- Common and Internal Spanning Tree
 - CIST も参照 21-16
- Common Spanning Tree
 - CST を参照 21-15
- Concurrent Routing and Bridging (CRB) 23-2
- CONFIG_FILE 環境変数
 - 説明 3-28
- config-register コマンド 3-25, 3-26
- configure terminal コマンド 3-11, 3-25, 10-3
- configure コマンド 3-10
- CoPP
 - QoS サービス ポリシーのコントロール プレーンへの適用 37-33
 - 概要 37-31
 - コントロール プレーンのコンフィギュレーション モード
 - 入力 37-33
 - コントロール プレーンのコンフィギュレーション モードへの切り替え 37-33
 - 設定
 - MLS QoS のイネーブル化 37-33
 - サービス ポリシー マップ 37-33
 - トラフィックと一致する ACL 37-33
 - パケット分類基準 37-33
 - 統計情報のモニタ 37-35
 - トラフィックの分類
 - ACL の例 37-37
 - 概要 37-36
 - グループ分け 37-36
 - 注意事項 37-37
 - 定義 37-36
 - パケット分類の注意事項 37-33
 - 表示
 - 適合するバイト数およびパケット数 37-35
 - 動的な情報 37-35
 - レート情報 37-35
- copy running-config startup-config コマンド 3-12
- copy system
 - running-config nvram
 - startup-config コマンド 3-29
- CoS
 - 上書きのプライオリティ 17-8, 17-9
- CST 21-15
 - Common Spanning Tree 21-18
- D
 - dCEF 27-5, 27-6
 - debug コマンド
 - IP MMLS 29-26
 - DEC スパニングツリー プロトコル 23-2

- Deficit Weighted Round Robin 42-108
 - description コマンド 10-17
 - destination フロー マスク 51-3
 - destination-source フロー マスク 51-3
 - destination-source-interface フロー マスク 51-3
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 38-4
 - 概要 38-3
 - 設定時の注意事項 38-7
 - パケット形式、サブオプション
 - 回線 ID 38-4
 - リモート ID 38-4
 - リモート ID サブオプション 38-4
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 38-3
 - イネーブル化 38-8, 38-9, 38-10, 38-11, 38-12
 - 概要 38-2
 - 信頼できないインターフェイス 38-2
 - 信頼できないメッセージ 38-2
 - 信頼できるインターフェイス 38-2
 - スヌーピング データベース エージェント 38-5
 - 設定 38-8
 - 設定時の注意事項 38-6, 38-7
 - データベース エージェントのイネーブル化 38-13
 - デフォルトの設定 38-6
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - バインディング テーブルの表示 38-17
 - メッセージ交換プロセス 38-3
- DHCP スヌーピング データベース エージェント
 - TFTP ファイルからの読み取り (例) 38-15
 - イネーブル化 (例) 38-14
 - 概要 38-5
 - データベースへの追加 (例) 38-17
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - エントリ 38-2
 - 概要 38-2
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP スヌーピングの増加したバインディング制限 38-13
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- Differentiated Services Code Point
 - QoS の DSCP を参照
- DiffServ
 - Short Pipe モード 43-35
 - Short Pipe モードの設定 43-39
 - Uniform モード 43-37
 - Uniform モードの設定 43-44
- DiffServ トンネリング モード 43-4
- distributed Cisco Express Forwarding
 - dCEF を参照
- DoS からの保護
 - DoS からの保護を参照
- Supervisor Engine 2
 - ARP スロットリング 37-6
 - FIB レート制限 37-4
 - QoS ACL 37-4
 - 推奨事項 37-2
 - セキュリティ ACL 37-2
 - 設定時の注意事項および制約事項 37-25
 - トラフィック ストーム制御 37-5
- Supervisor Engine 720 37-11
 - FIB 収集レートリミッタ 37-19
 - FIB 受信レートリミッタ 37-10, 37-18
 - ICMP 到達不能レートリミッタ 37-18
 - ICMP リダイレクト レートリミッタ 37-19
 - IP エラー レートリミッタ 37-10, 37-21
 - IPv4 マルチキャスト レートリミッタ 37-11, 37-21
 - IPv6 マルチキャスト レートリミッタ 37-22
 - MTU 失敗のレートリミッタ 37-20
 - QoS ACL 37-12
 - SYN 攻撃を受けたネットワーク 37-14
 - TCP インターセプト 37-6, 37-14
 - TTL 失敗のレートリミッタ 37-17
 - uRPF 失敗のレートリミッタ 37-17
 - uRPF チェック 37-13
 - VACL ログ レートリミッタ 37-10, 37-20
 - 出力 ACL ブリッジドパケット レートリミッタ 37-9, 37-16
 - セキュリティ ACL 37-12
 - デフォルト設定 37-24
 - トラフィック ストーム制御 37-13
 - 入力 ACL ブリッジドパケット レートリミッタ 37-9, 37-16

- マルチキャスト FIB 不一致レート リミッタ 37-21
- マルチキャスト IGMP スヌーピング レート リミッタ 37-10, 37-20
- マルチキャスト直接接続レート リミッタ 37-22
- レイヤ 2 PDU レートリミッタ 37-10, 37-20
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング レート リミッタ 37-10, 37-21
- Supervisor Engine 720 レイヤ 3 セキュリティ機能のレートリミッタ 37-10, 37-19
- 機能概要 37-2
- パケット廃棄統計情報のモニタ 37-8
 - monitor session コマンドの使用 37-26, 37-27
 - VACL キャプチャの使用 37-28
- DSCP
 - QoS の DSCP を参照
- DSCP ベースのキュー マッピング 42-99
- duplex コマンド 10-9, 10-10
- DWRR 42-108
- Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) スヌーピング
 - DHCP スヌーピングを参照
- E
- Embedded CiscoView 1-2
- enable コマンド 3-10, 3-25
- EoMPLS 25-16
 - VLAN モード 25-18
 - VLAN モードの設定 25-18
 - 設定 25-17
 - 注意事項および制約事項 25-16
 - ポートモード 25-18
 - ポートモード設定時の注意事項 25-21
- EoMPLS の設定
 - EoMPLS VLAN モード 25-18
 - EoMPLS ポートモード 25-21
- ERSPAN 52-1
- EtherChannel
 - channel-group
 - コマンド 13-8, 13-12
 - コマンド例 13-9
 - DFC の制限事項、リリース ノートの CSCdt27074 を参照
 - interface port-channel
 - コマンド例 13-8
 - interface port-channel コマンド 13-7
 - lacp system-priority
 - コマンド例 13-11
 - PAGP
 - 概要 13-3
 - port-channel load-balance
 - コマンド 13-11
 - コマンド例 13-12
 - STP 13-5
 - switchport trunk encapsulation dot1q 13-6
 - 概要 13-2
 - 設定
 - レイヤ 2 13-8
 - 設定時の注意事項 13-6
 - 設定 (作業) 13-7
 - ポートチャネル インターフェイス 13-5
 - モード 13-3
 - レイヤ 2
 - 設定 13-8
 - ロードバランス
 - 概要 13-5
 - 設定 13-11
 - EtherChannel Min-Links 13-12
 - EtherChannel ガード
 - STP EtherChannel ガードを参照
- EXP 変換 43-4
- Extensible Authentication Protocol over LAN 47-2
- F
- FIB TCAM 25-3
- Flex Link 12-1
 - 設定 12-3
 - 設定時の注意事項 12-3
 - 説明 12-2
 - デフォルトの設定 12-3
 - モニタ 12-4
- full-interface フロー マスク 51-3
- H
- hello タイム
 - MSTP 20-24
- hello タイム、STP 21-34

- |
- ICMP 到達不能メッセージ 35-2
- IEEE 802.10 SAID (デフォルト) 15-7
- IEEE 802.1Q
 - 802.1Q を参照
- IEEE 802.1Q EtherType
 - カスタムの設定 11-16
- IEEE 802.1s
 - MST を参照
- IEEE 802.1w
 - MST を参照
 - RSTP を参照
- IEEE 802.3ad
 - LACP を参照
- IEEE 802.3x フロー制御 10-15
- IEEE ブリッジング プロトコル 23-2
- IGMP
 - Internet Group Management Protocol 31-1
 - Join メッセージ 31-2
 - イネーブル化 31-11
 - クエリー 31-3
 - クエリー時間
 - 設定 31-13
 - スヌーピング
 - 概要 31-2
 - 高速脱退 31-5
 - マルチキャストグループからの脱退 31-4
 - マルチキャストグループへの加入 31-2
 - スヌーピング クエリア
 - イネーブル化 31-10
 - 概要 31-2
 - 設定時の注意事項 30-8, 31-8
 - 脱退処理
 - イネーブル化 31-14
- IGMP v3lite 29-10
- IGMPv3 29-10
- IGMPv3、IGMP v3lite、および URD を使用した Source-Specific Multicast 29-10
- ignore port trust 42-10, 42-18, 42-57, 42-75
- IGRP、設定 3-7
- Integrated Routing and Bridging (IRB) 23-2
- interface port-channel
 - コマンド例 13-8
- interface port-channel コマンド 13-7
- interface range macro コマンド 10-7
- interface range コマンド 10-5
- interface コマンド 10-2, 10-3
- Interior Gateway Routing Protocol
 - IGRP、設定を参照
- Internal Sub Tree プロトコル
 - IST を参照 21-15
- Internet Group Management Protocol
 - IGMP を参照
- IP
 - スタティック ルート 3-13
 - デフォルト ゲートウェイ、設定 3-13
- IP CEF
 - トポロジー (図) 27-4
- ip flow-export destination コマンド 51-17
- ip flow-export source コマンド 51-16, 51-18, 57-3, 57-4
- ip http server 1-1
- IP MLS
 - NDE
 - NDE を参照
 - エージング タイム 51-13
 - フロー マスク
 - destination 51-3
 - destination-source 51-3
 - destination-source-interface 51-3
 - full 51-3
 - full-interface 51-3
 - 概要 51-3
 - 最小 51-12
- IP MMLS
 - debug コマンド 29-26
 - イネーブル化
 - ルータ インターフェイス上 29-12
 - 概要 29-2
 - キャッシュ、概要 29-2
 - サポートされない機能 29-9
 - スイッチ
 - 統計情報、消去 29-27
 - 設定時の注意事項 29-9
 - デフォルトの設定 29-8
 - パケットの書き換え 29-3
 - フロー
 - 部分的および完全スイッチング 29-4
 - ルータ
 - PIM、イネーブル化 29-11
 - インターフェイス上でのイネーブル化 29-12
 - インターフェイス情報の表示 29-18

- グローバルなイネーブル化 29-10
 - マルチキャストルーティング テーブル、表示 29-20
 - レイヤ3のMLS キャッシュ 29-2
 - ip multicast-routing コマンド
 - IP マルチキャストルーティングのイネーブル化 29-11
 - IP Phone
 - 設定 17-7
 - ip pim コマンド
 - IP PIM のイネーブル化 29-11
 - IP unnumbered 23-2
 - ip wccp version コマンド 56-8
 - IP アカウンティング、IP MMLS 29-9
 - IP アドレス
 - BOOTP プロトコルによる割り当て 3-15
 - デフォルト設定 3-15
 - IP マルチキャスト
 - IGMP スヌーピング 31-11
 - MLDv2 スヌーピング 30-11
 - 概要 31-2
 - IP マルチキャスト MLS
 - IP MMLS を参照
 - ip-full フローマスク 51-3
 - IPSec 45-2
 - IPv4 Multicast over Point-to-Point GRE トンネル 1-5
 - IPv4 マルチキャスト VPN 26-1
 - IPv6 QoS 42-52
 - IPv6 マルチキャスト PFC3 および DFC3 レイヤ3 スウィッチング 28-1
 - ISL カプセル化 11-4
 - ISL トランク 11-3
 - IST 21-15
- J**
- Join メッセージ、IGMP 31-2
- L**
- LACP
 - システム ID 13-4
 - LER 43-2, 43-7, 43-8
 - LOU
 - 最大数 35-7
 - 説明 35-7
 - LSP 25-17
 - LSR 43-2, 43-7
- M**
- MAC アドレス
 - BOOTP コンフィギュレーションファイルへの追加 3-15
 - MAC アドレス リダクション 21-3
 - MAC アドレスベース ブロッキング 34-2
 - MAC 移行 (ポートセキュリティ) 48-2
 - main-cpu コマンド 8-7, 8-8, 9-8
 - match protocol 42-52
 - microflow ポリシング ルール
 - QoS ポリシングを参照
 - Min-Links 13-12
 - MLD
 - レポート 30-4
 - MLD スヌーピング
 - クエリー時間
 - 設定 30-13
 - MLDv2 30-1
 - イネーブル化 30-11
 - クエリー 30-5
 - スヌーピング
 - 概要 30-2
 - 高速脱退 30-7
 - マルチキャスト グループからの脱退 30-6
 - マルチキャスト グループへの加入 30-4
 - スヌーピング クエリア
 - イネーブル化 30-10
 - 概要 30-2
 - 脱退処理
 - イネーブル化 30-13
 - MLDv2 スヌーピング 30-1
 - MLS
 - MSFC
 - スレッシュホールド 29-15
 - スレッシュホールドの設定 29-15
 - mls aging コマンド
 - IP MLS の設定 51-14
 - mls flow コマンド
 - IP MLS の設定 51-12, 51-13, 51-15
 - mls ip multicast コマンド
 - IP MMLS のイネーブル化 29-12, 29-13, 29-15, 29-16, 29-17, 29-23, 29-24

- mls nde flow コマンド
 - プロトコルフロー フィルタの設定 51-21
 - ポート フィルタの指定 51-20
 - ホストフロー フィルタの設定 51-21
 - ホストおよびポート フィルタの設定 51-20
- mls nde sender コマンド 51-14
- MPLS 25-2
 - AToM 25-15
 - DiffServ トンネリング モード 43-35
 - EXP フィールド 43-3
 - IP/MPLS パス 25-3
 - MPLS/IP パス 25-4
 - MPLS/MPLS パス 25-4
 - QoS のデフォルト設定 43-17
 - VPN 43-13
 - VPN 注意事項および制約事項 25-12
 - 基本設定 25-9
 - コア 25-4
 - 集約ラベル 25-2
 - 出力 25-4
 - 注意事項および制約事項 25-7
 - 入力 25-3
 - 非集約ラベル 25-2
 - ラベル 25-2
 - レイヤ 2 VPN ロードバランス 25-8
- mpls l2 transport route コマンド 25-17
- MPLS QoS
 - Differentiated Services Code Point 43-2
 - E-LSP 43-2
 - queueing-only モード 43-22
 - EXP 値マッピングの設定 43-33
 - EXP ビット 43-2
 - IP precedence 43-2
 - QoS タグ 43-2
 - QoS のグローバルなイネーブル化 43-21
 - 機能 43-3
 - クラス マップの設定 43-23
 - コマンド 43-19
 - サービス クラス 43-2
 - 出力 EXP 変換の設定 43-32
 - 分類 43-2
 - ポリシー マップの設定 43-26
 - ポリシー マップの表示 43-31
- MPLS QoS の設定
 - MPLS パケットを分類するクラス マップ 43-23
- MPLS VPN
 - 制限事項および制約事項 25-12
- MQC 42-1
 - サポートあり
 - ポリシー マップ 42-3
 - サポートなし
 - CAR 42-3
 - キューイング 42-3
- MST
 - PVST+ とのインターオペラビリティ 21-16
 - イネーブル化 21-37
 - インスタンス 21-18
 - インターオペラビリティ 21-16
 - エッジポート 21-20
 - 境界ポート 21-20
 - コンフィギュレーション 21-18
 - 設定 21-37
 - ホップ数 21-21
 - マスター 21-20
 - メッセージ エージ 21-21
 - 領域 21-18, 21-19
 - リンク タイプ 21-20
- MST-BPDU 21-16
- MSTP
 - CIST リージョナルルート 20-4
 - CIST ルート 20-5
 - CIST、概要 20-3
 - CST
 - 定義 20-3
 - 領域間の動作 20-4
 - IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 20-28
 - 概要 20-9
 - IEEE 802.1s
 - 実装 20-7
 - ポート ロール命名の変更 20-7
 - 用語 20-5
- IST
 - 定義 20-3
 - マスター 20-4
 - 領域内の動作 20-4
- M ツリー 21-16
- M レコード 21-16
- MST 領域
 - CIST 20-3
 - IST 20-3

- 概要 20-3
 - サポートされているスパンニングツリー インスタンス 20-3
 - 設定 20-17
 - ホップカウントメカニズム 20-6
 - VLAN と MST インスタンスとのマッピング 20-18
 - 概要 20-2
 - 拡張システム ID
 - セカンダリ ルート スイッチで有効 20-20
 - 予期せぬ動作 20-19
 - ルート スイッチで有効 20-19
 - 境界ポート
 - 概要 20-6
 - 設定時の注意事項 20-17
 - ステータスの表示 20-29
 - ステータス、表示 20-29
 - 設定
 - hello タイム 20-24
 - MST 領域 20-17
 - 高速コンバージェンスのリンク タイプ 20-27
 - 最大エージングタイム 20-26
 - 最大ホップ カウント 20-26
 - スイッチプライオリティ 20-23
 - セカンダリ ルートブリッジ 20-20
 - 転送遅延時間 20-25
 - ネイバタイプ 20-27
 - パス コスト 20-22
 - ポートプライオリティ 20-21
 - ルート スイッチ 20-19
 - 設定時の注意事項 20-17
 - デフォルトの設定 20-16
 - モードのイネーブル化 20-17
 - ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の有効化 20-19
 - 設定 20-19
 - 予期せぬ動作 20-19
 - MTU サイズ (デフォルト) 15-7
 - Multicast Listener Discovery version 2
 - MLDv2 を参照
 - Multiple Spanning Tree
 - MST を参照
 - Multiple Spanning Tree Protocol
 - MSTP も参照 21-15
- N**
- NAC
 - 非応答ホスト 46-5
 - NBAR 42-1, 42-52
 - NDE
 - イネーブル化 51-10
 - 概要 51-2
 - 指定
 - 宛先 TCP/UDP ポート フィルタ 51-20
 - 宛先ホスト フィルタ 51-21
 - プロトコル フィルタ 51-21
 - 設定の表示 51-21
 - 設定、表示 51-21
 - フィルタ
 - 宛先 TCP/UDP ポート、指定 51-20
 - 宛先ホスト、指定 51-21
 - 概要 51-7
 - 送信元ホストおよび宛先 TCP/UDP ポート、指定 51-20
 - プロトコル、指定 51-21
 - マルチキャスト 51-9
 - NDE 設定、デフォルト 51-9
 - NDE バージョン 8 51-2
 - NetFlow Data Export
 - NDE を参照
 - Netflow の複数のエクスポート先 51-17
 - NetFlow バージョン 9 51-3
 - Network Admission Control
 - NAC を参照
 - Network Admission Control (NAC) 46-1
 - Network-Based Application Recognition 42-1
 - Nonstop Forwarding
 - NSF を参照
 - NSF 7-1
 - NSF with SSO は、IPv6 マルチキャストトラフィックをサポートしていません。 7-1
 - NVRAM
 - 設定の保存 3-12
- O**
- OIR 10-18

P

PAgP

概要 13-3

PBR 1-4, 23-5

PFC2

NetFlow

テーブル、エントリの表示 27-7

PFC2 用 CEF

CEF を参照

PFC3BXL

MPLS サポート コマンド 25-7

MPLS 注意事項および制約事項 25-7

MPLS ラベルスイッチング 25-2

VPN サポート コマンド 25-12

VPN スイッチング 25-11

再循環 25-4

サポートされる Cisco IOS 機能 25-5

ハードウェア機能 25-5

PIM スヌーピング

VLAN でのイネーブル化 32-6

概要 32-5

グローバルなイネーブル化 32-6

指定ルータ フラッドイング 32-7

PIM スヌーピングの指定ルータ フラッドイングのデ
セーブル化 32-7

PIM、MMLS 29-11

police コマンド 42-76

policy-map コマンド 42-66, 42-73

Port Aggregation Protocol

PAgP を参照

port-channel load-balance

コマンド 13-11

コマンド例 13-11, 13-12

PortFast

STP PortFast を参照

PortFast BPDU フィルタリング

STP Portfast の BPDU フィルタリングを参照

PVLAN

プライベート VLAN を参照

PVLAN ポートのポートセキュリティ 48-4

PVRST

Rapid PVST を参照 21-14

Q

QoS

IPv6 42-52

QoS L3 スイッチング エンジン

機能の概要 42-18

分類、マーキング、およびポリシング 42-10

QoS MSFC 42-19

マーキング 42-19

QoS OSM 出力ポート

機能の概要 42-15

QoS trust CoS

ポート キーワード 42-16, 42-18

QoS trust DSCP

ポート キーワード 42-16, 42-18

QoS trust-ipprec

ポート キーワード 42-16, 42-18

QoS untrusted ポート キーワード 42-16, 42-18

QoS イーサネット出力ポート

スケジューリング 42-113

スケジューリング、輻輳回避、およびマーキング
42-13, 42-15

QoS イーサネット入力ポート

分類、マーキング、スケジューリング、および輻輳
回避 42-7

QoS 機能を使用したトラフィック フロー 42-4

QoS キュー

送信、帯域幅の割り当て 42-108

QoS 送信キュー

スレッシュホールド

設定 42-92, 42-96

QoS 統計データのエクスポート 44-2

宛先ホストの設定 44-8

間隔の設定 44-7, 44-10

設定 44-3

QoS の CoS

定義 42-124

ポートの値、設定 42-91

レイヤ 3 スイッチング エンジンの最終的な ToS 値
42-13

QoS の DSCP

定義 42-124

内部値 42-11

マッピング、設定 42-86

QoS の ToS

定義 42-124

- レイヤ 3 スイッチング エンジンからの最終的な CoS 値 42-13
 - QoS の VLAN ベースまたはポート ベース 42-12, 42-60
 - QoS の最終的なレイヤ 3 スイッチング エンジン CoS 値 および ToS 値 42-13
 - QoS の受信および送信キュー 設定 42-98
 - QoS の受信キュー 42-9, 42-103, 42-106 廃棄スレッシュホールド 42-24
 - QoS のスケジューリング (定義) 42-125
 - QoS の送信キュー 42-25, 42-100, 42-102, 42-104, 42-105 サイズ比 42-110, 42-111
 - QoS のデフォルト設定 42-113, 44-2
 - QoS の内部 DSCP 値 42-11
 - QoS の輻輳回避 定義 42-124
 - QoS の分類 (定義) 42-124
 - QoS のポート ベースまたは VLAN ベース 42-60
 - QoS のマーキング 信頼できないポート 42-16 信頼できるポート 42-16 定義 42-125
 - QoS のマークダウン 42-22
 - QoS のマッピング CoS 値と DSCP 値 42-84, 42-86 DSCP 値と CoS 値 42-89 DSCP 変換 42-82, 43-32 DSCP マークダウン値 42-29, 42-88, 43-18 IP precedence 値と DSCP 値 42-87
 - QoS ポート 信頼状態 42-90
 - QoS ポリシング microflow、ルーティングされないトラフィックに対するイネーブル化 42-59 定義 42-125
 - QoS ポリシングルール aggregate 42-19 microflow 42-19 設定 42-64
 - QoS ラベル (定義) 42-125
 - QoS、不適合 42-22
- ## R
- Rapid PVST イネーブル化 21-36 概要 21-14
 - Rapid Spanning Tree RSTP を参照 21-13
 - Rapid Spanning Tree Protocol 21-15 RSTP を参照
 - reload コマンド 3-25, 3-26
 - Remote Source-Route Bridging (RSRB) 23-2
 - RGMP 33-1 概要 33-2 パケットタイプ 33-2
 - RIF キャッシュの表示 10-19
 - ROM モニタ CLI 2-8 起動プロセス 3-22
 - rommon コマンド 3-26
 - Route Processor Redundancy 冗長構成 (RPR+) を参照
 - Router-Port Group Management Protocol RGMP を参照
 - RPF 障害 29-5 非 RPF トラフィック 29-5 マルチキャスト 29-2 ユニキャスト 34-3
 - RPR および RPR+ が IPv6 マルチトラフィックをサポート 9-1
 - RPR+ 冗長構成 (RPR+) を参照
 - RSTP 21-15 BPDU 形式 20-13 処理 20-14 IEEE 802.1D とのインターオペラビリティ 移行プロセスの再起動 20-28 概要 20-9 トポロジーの変更 20-14 MSTP を参照 アクティブ トポロジー 20-10 概要 20-10 高速コンバージェンス エッジポートおよび Port Fast 20-11 概要 20-11 ポイントツーポイントリンク 20-11, 20-27

- ルータポート 20-11
 - 指定スイッチ、定義 20-10
 - 指定ポート、定義 20-10
 - 提案合意ハンドシェイク処理 20-11
 - ポートステータス 21-14
 - ポートルール 21-14
 - 概要 20-10
 - 同期 20-12
 - ルータポート、定義 20-10
- S**
- SAID 15-7
 - service-policy input コマンド 42-61, 42-80, 42-83, 42-86, 43-33
 - service-policy コマンド 42-66
 - setup コマンド 3-2
 - SFM 6-1
 - スロットの位置 6-2
 - 設定 6-4
 - モニタ 6-6
 - Short Pipe モード
 - 設定 43-39
 - show boot コマンド 3-29
 - show catalyst6000 chassis-mac-address コマンド 21-3
 - show cdp entry コマンド 49-4
 - show cdp interface コマンド 49-3
 - show cdp neighbors コマンド 49-4
 - show cdp traffic コマンド 49-4
 - show cdp コマンド 49-2, 49-4
 - show ciscoview package コマンド 1-3
 - show ciscoview version コマンド 1-3
 - show configuration コマンド 10-17
 - show debugging コマンド 49-4
 - show eobc コマンド 10-19
 - show hardware コマンド 10-4
 - show history コマンド 2-4
 - show ibc コマンド 10-19
 - show interfaces コマンド 10-3, 10-14, 10-15, 10-17, 10-19, 11-8, 11-13
 - インターフェイスカウンタのクリア 10-19
 - 表示、インターフェイスタイプ番号 10-3
 - 表示、速度およびデュプレックスモード 10-11
 - show ip flow export コマンド
 - NDE エクスポートフローの IP アドレスおよび UDP ポートの表示 51-19
 - show ip interface コマンド
 - IP MMLS インターフェイスの表示 29-18
 - show ip mroute コマンド
 - IP マルチキャストルーティングテーブルの表示 29-20
 - show ip pim interface コマンド
 - IP MMLS ルータ設定の表示 29-18
 - show mls aging コマンド 51-14
 - show mls entry コマンド 27-7
 - show mls ip multicast group コマンド
 - IP MMLS グループの表示 29-21, 29-24
 - show mls ip multicast interface コマンド
 - IP MMLS インターフェイスの表示 29-21, 29-24
 - show mls ip multicast source コマンド
 - IP MMLS の送信元の表示 29-21, 29-24
 - show mls ip multicast statistics コマンド
 - IP MMLS 統計情報の表示 29-21, 29-24
 - show mls ip multicast summary
 - IP MMLS 設定の表示 29-21, 29-24
 - show mls nde コマンド 51-21
 - NDE フロー IP アドレスの表示 51-19
 - show mls rp コマンド
 - IP MLS の設定の表示 51-13
 - show module コマンド 8-8, 9-9
 - show protocols コマンド 10-19
 - show rif コマンド 10-19
 - show running-config コマンド 3-12, 10-17, 10-19
 - show startup-config コマンド 3-12
 - show version コマンド 3-10, 3-26, 10-19
 - shutdown コマンド 10-20
 - Single Spanning Tree
 - SST を参照 21-15
 - SNMP
 - サポートおよびマニュアル 1-1
 - source-only フローマスク 51-3
 - SPAN
 - 概要 52-2
 - 設定 52-14
 - VLAN フィルタリング 52-23
 - 送信元 52-15, 52-16, 52-18, 52-19, 52-21
 - 設定時の注意事項 52-7
 - SPAN 宛先ポートの許可リスト 52-14
 - spanning-tree backbonefast
 - コマンド 22-16, 22-17
 - コマンド例 22-16, 22-17

- spanning-tree cost
 - コマンド 21-31
 - コマンド例 21-32
- spanning-tree portfast
 - コマンド 22-10
 - コマンド例 22-10
- spanning-tree portfast bpdu-guard
 - コマンド 22-14
- spanning-tree port-priority
 - コマンド 21-30
- spanning-tree uplinkfast
 - コマンド 22-15
 - コマンド例 22-15
- spanning-tree vlan
 - コマンド 21-25, 21-26, 21-28, 21-29, 22-17
 - コマンド例 21-25, 21-27, 21-28, 21-29
- spanning-tree vlan cost
 - コマンド 21-31
- spanning-tree vlan forward-time
 - コマンド 21-35
 - コマンド例 21-35
- spanning-tree vlan hello-time
 - コマンド 21-34
 - コマンド例 21-34
- spanning-tree vlan max-age
 - コマンド 21-35
 - コマンド例 21-35
- spanning-tree vlan port-priority
 - コマンド 21-30
 - コマンド例 21-31
- spanning-tree vlan priority
 - コマンド 21-33
 - コマンド例 21-34
- speed コマンド 4-2, 10-9
- SRR 42-108
- SST 21-15
 - インターオペラビリティ 21-16
- startup-config コマンドの削除
 - コンフィギュレーション ファイルの削除 3-15
- sticky ARP 37-39
- sticky MAC アドレス 48-3
- sticky セキュア MAC アドレス 48-11, 48-12
- sticky セキュア MAC アドレスのイネーブル化 48-11
- STP
 - EtherChannel 13-5
 - 概要 21-2
 - 802.1Q トランク 21-12
 - BPDU 21-4
 - 概要 21-2
 - ディセーブル ステート 21-12
 - トポロジー 21-5
 - フォワーディング ステート 21-11
 - ブロッキング ステート 21-8
 - プロトコル タイマー 21-5
 - ポート ステート 21-6
 - ラーニング ステート 21-10
 - リスニング ステート 21-9
 - ルートブリッジの選定 21-5
 - 設定 21-24
 - hello タイム 21-34
 - イネーブル化 21-24, 21-26
 - 最大エージング タイム 21-35
 - セカンダリ ルートブリッジ 21-29
 - 転送遅延時間 21-35
 - ブリッジプライオリティ 21-33
 - ポートコスト 21-31
 - ポートプライオリティ 21-29
 - ルートブリッジ 21-27
 - デフォルト 21-22
- STP BackboneFast
 - MST 21-16
 - spanning-tree backbonefast
 - コマンド 22-16, 22-17
 - コマンド例 22-16, 22-17
 - 概要 22-5
 - 図
 - スイッチの設定 22-8
 - 設定 22-16
- STP BPDU ガード
 - MST 21-16
 - spanning-tree portfast bpdu-guard
 - コマンド 22-14
 - 概要 22-2
 - 設定 22-14
- STP EtherChannel ガード 22-7
- STP PortFast
 - BPDU フィルタ
 - 設定 22-12
 - BPDU フィルタリング 22-3
 - MST 21-16
 - spanning-tree portfast
 - コマンド 22-10

コマンド例 22-10
 概要 22-2
 設定 22-10
 STP UplinkFast
 MST 21-16
 spanning-tree uplinkfast
 コマンド 22-15
 コマンド例 22-15
 概要 22-4
 設定 22-15
 STP の Portfast BPDU フィルタリング
 MST 21-16
 STP ブリッジ ID 21-3
 STP ルート ガード 22-7, 22-17
 MST 21-16
 STP ループ ガード
 MST 21-16
 概要 22-7
 設定 22-18
 Supervisor Engine 32 5-1
 Supervisor Engine 720 での fabric switching-mode allow
 dcef-only コマンド 7-2, 9-2, 9-5
 switchport
 show interfaces 10-14, 10-15, 11-8, 11-13
 設定 11-15
 例 11-14
 switchport access vlan 11-11, 11-15
 例 11-16
 switchport mode access 11-5, 11-15
 例 11-16
 switchport mode dynamic 11-10
 switchport mode dynamic auto 11-5
 switchport mode dynamic desirable 11-5
 デフォルト 11-6
 例 11-14
 switchport mode trunk 11-5, 11-10
 switchport nonegotiate 11-5
 switchport trunk allowed vlan 11-12
 switchport trunk encapsulation 11-9
 switchport trunk encapsulation dot1q 11-4
 例 11-14
 switchport trunk encapsulation isl 11-4
 switchport trunk encapsulation negotiate 11-4
 デフォルト 11-6
 switchport trunk native vlan 11-11
 switchport trunk pruning vlan 11-13

T

TACACS+ 34-1, 35-1, 37-1, 45-1
 TCP インターセプト 34-2
 TDR
 ケーブル接続性の確認 10-22
 注意事項 10-22
 テストのイネーブル化またはディセーブル化 10-22
 Telnet
 CLI へのアクセス 2-2
 TopN レポート
 スイッチの TopN レポートを参照
 traceroute、レイヤ 2
 1 つのポート上の複数の装置 58-3
 ARP 58-2
 CDP 58-2
 IP アドレスおよびサブネット 58-2
 MAC アドレスおよび VLAN 58-2
 概要 58-2
 使用上の注意事項 58-2
 マルチキャスト トラフィック 58-2
 ユニキャスト トラフィック 58-2
 trust-dscp
 QoS trust DSCP を参照
 trust-ipprec
 QoS trust-ipprec を参照

U

UDE 24-1
 概要 24-2
 コンフィギュレーション 24-4
 UDE と UDLR 24-1
 UDLD
 イネーブル化
 グローバル 50-4
 ポート 50-5
 概要 50-2
 デフォルトの設定 50-4
 UDLR 24-1
 コンフィギュレーション 24-6
 トンネル
 ARP および NHRP 24-3
 例 24-8
 バック チャンネル 24-2

- Unidirectional Link Detection Protocol
 - UDLD を参照
- Unidirectional Link Routing (UDLR; 単一方向リンク ルーティング)
 - UDLR を参照
- Uniform モード
 - 設定 43-44
- untrusted
 - QoS trust CoS を参照
 - QoS untrusted を参照
- UplinkFast
 - STP UplinkFast を参照
- URD 29-10

- V

- VACL 36-2
 - MAC アドレス ベース 36-5
 - SVI 36-8
 - WAN インターフェイス 36-2
 - 概要 36-2
 - 設定 36-5
 - 例 36-9
 - マルチキャスト パケット 36-4
 - レイヤ 3 VLAN インターフェイス 36-8
 - レイヤ 4 ポート演算 35-7
 - ログ機能
 - 制限事項 36-11
 - 設定 36-11
 - 設定例 36-11
- VLAN
 - 4096 個の VLAN のサポート 15-2
 - ID (デフォルト) 15-7
 - VLAN 1 の削除 11-12
 - VTP ドメイン 15-3
 - インターフェイスの割り当て 15-13
 - 概要 15-2
 - 拡張範囲 15-2
 - 設定 15-1
 - 設定オプション
 - VLAN データベース モード 15-10
 - グローバル コンフィギュレーション モード 15-10
 - 設定時の注意事項 15-9
 - 設定 (作業) 15-10
 - デフォルト 15-7
 - トークンリング 15-3
 - トランク
 - 概要 11-3
 - トランク上で許容 11-12
 - 名前 (デフォルト) 15-7
 - 標準範囲 15-2
 - プライベート
 - プライベート VLAN を参照
 - 予約範囲 15-2
- vlan
 - コマンド 15-11, 15-13, 51-11, 52-16
 - コマンド例 15-12
- vlan database
 - コマンド 15-11, 15-13, 51-11, 52-16
 - 例 15-12
- vlan mapping dot1q
 - コマンド 15-16, 15-17
 - コマンド例 15-17
- VLAN Trunking Protocol
 - VTP を参照
- VLAN ブリッジ スパニング ツリー プロトコル 23-2
- VLAN ベースの QoS フィルタリング 42-67
- VLAN 変換
 - コマンド例 15-16
- VLAN モード 25-18
- VPN
 - 設定例 25-13
 - 注意事項および制約事項 25-12
- VTP
 - アドバタイズ 14-3
 - 概要 14-2
 - クライアント、設定 14-10
 - サーバ、設定 14-10
 - 設定時の注意事項 14-7
 - ディセーブル化 14-10
 - デフォルトの設定 14-6
 - 統計情報 14-12
 - ドメイン 14-2
 - VLAN 15-3
 - トランスペアレント モード、設定 14-10
 - バージョン 2
 - イネーブル化 14-9
 - 概要 14-3
 - プルーニング
 - 概要 14-4
 - コンフィギュレーション 11-13

- 設定 14-9
 - モード
 - クライアント 14-3
 - サーバ 14-3
 - トランスペアレント 14-3
 - モニタ 14-12
- W**
- WCCP**
- サービス グループ 56-9
 - プロトコルバージョンの指定 56-8
 - ルータでの設定 56-2, 56-16
- Web Cache Communication Protocol**
- WCCP を参照 56-1
- Web キャッシュ**
- キャッシュ エンジン を参照
- Web キャッシュ サービス**
- 説明 56-6
- Web キャッシング**
- WCCP も参照
 - Web キャッシュ サービス を参照
- Web スケーリング** 56-2
- Web ブラウザ インターフェイス** 1-1
- WRR** 42-108
- X**
- xconnect コマンド** 25-17
- あ**
- アクセス ポート、設定 11-15
 - アクセス リスト
 - WCCP での使用 56-11
 - アクセス制御エントリおよびリスト 34-1, 35-1, 37-1, 45-1
 - アップグレードに関する注意事項 25-17
 - アドバタイズ、VTP 14-3
 - アドレス
 - IP、IP アドレスを参照
 - MAC アドレスを参照
 - アラーム
 - マイナー 54-12
 - メジャー 54-12
- い**
- イーサネット
 - ポート デュプレックスの設定 10-16
 - イネーブル EXEC モード 2-6
 - イネーブル モード 2-6
 - イネーブル化
 - IP MMLS
 - ルータ インターフェイス上 29-12
 - インターフェイス
 - カウンタ、クリア 10-19, 10-20
 - コマンド 3-11
 - コンフィギュレーション 3-8?3-9
 - コンフィギュレーション モード 2-6
 - 再起動 10-20
 - シャットダウン
 - 作業 10-20
 - 情報の表示 10-19
 - 設定 10-3
 - 設定、概要 10-2
 - 設定、速度 10-8
 - 設定、デュプレックス モード 10-8
 - 説明、追加 10-17
 - ネーミング 10-17
 - パラメータ、設定 3-8
 - 範囲 10-5
 - 番号 10-2
 - メンテナンス 10-19
 - モニタ 10-19
 - レイヤ 2 モード 11-5
 - インターフェイスのシャットダウン
 - 結果 10-20
- え**
- エージング タイム
 - IP MLS 51-13
 - 高速化
 - MSTP 20-25
 - 最大
 - MSTP 20-26
- お**
- オペレーティング システム イメージ
 - システム イメージを参照

- 音声 VLAN
 - Cisco IP Phone、ポート接続 17-2
 - IP Phone への接続 17-7
 - 音声トラフィック用のポートの設定
 - 802.1Q フレーム 17-7
 - 概要 17-2
 - 設定時の注意事項 17-6
 - データ トラフィック用の IP Phone の設定
 - 着信フレームの CoS の変更 17-8, 17-9
 - デフォルトの設定 17-6
- オンライン診断
 - 概要 55-2
 - 診断の健全性チェック 55-11
 - 設定 55-3
 - テストの実行 55-7
 - テストの説明 A-1
 - メモリテスト 55-11
- オンライン診断テスト A-1

- か
- カウンタ
 - インターフェイスのクリア 10-19, 10-20
- 書き換え、パケット
 - CEF 27-2
 - IP MMLS 29-3
- 拡張 interface range コマンド 10-5
- 拡張システム ID
 - MSTP 20-19
- 拡張範囲 VLAN 15-2
 - VLAN を参照
- 確認
 - コンフィギュレーション、システム 3-12
- 仮想 LAN
 - VLAN を参照
- カプセル化 11-4
- 環境のモニタ
 - CLI コマンドの使用 54-11
 - LED 表示 54-12
 - SNMP トラップ 54-12
 - Syslog メッセージ 54-12
 - スーパーバイザ エンジンおよびスイッチング モジュール 54-12
- 環境変数
 - CONFIG_FILE 3-28
 - 制御 3-28

- 表示 3-29
- 関連資料 xlv

- き
- キーボードショートカット 2-4
- キャッシュ エンジン 56-1
- キャッシュ エンジン クラスタ 56-1
- キャッシュ ファーム
 - キャッシュ エンジン クラスタを参照

- く
- クエリー、IGMP 31-3
- クエリー、MLDv2 30-5
- クラス マップの設定 42-70
- グローバル コンフィギュレーション モード 2-6
- グローバル パラメータ、設定 3-3

- け
- ゲートウェイ、設定 3-13
- 権限レベル
 - 終了 3-20
 - 設定
 - 権限レベル 3-19
 - 複数のレベル 3-19
 - デフォルトの変更 3-20
 - ログイン 3-20

- こ
- 高速コンバージェンス 20-11
- コマンドの省略 2-6
- コマンドラインの処理 2-4
- コマンド、リスト表示 2-7
- コミュニティ VLAN 16-3, 16-4
- コミュニティ ポート 16-3
- コンソール コンフィギュレーション モード 2-6
- コントロールプレーン ポリシング
 - CoPP を参照
- コンフィギュレーション
 - インターフェイス 3-8?3-10
 - ファイル、保存 3-12
 - レジスタ

- 起動時の設定 3-24
 - コンフィギュレーション 3-23?3-26
 - 設定値の変更 3-25?3-26
 - コンフィギュレーションファイルの保存 3-12
 - コンフィギュレーションレジスタのブートフィールド
値の確認 3-26
 - 変更 3-25
- さ**
- サービスプロバイダー ネットワーク、MSTP および
RSTP 20-2
 - 再循環 25-4, 42-14
 - 最大エージングタイム
 - MSTP 20-26
 - 最大エージングタイム、STP 21-35
 - 最大ホップカウント、MSTP 20-26
 - 再マーキングされた DSCP に対する出力 ACL のサポ
ート 42-14, 42-61
 - サブドメイン、プライベート VLAN 16-2
 - サンプリングされた NetFlow
 - 説明 51-7
- し**
- システム
 - グローバルパラメータの設定 3-3?3-8
 - コンフィギュレーションレジスタ
 - 起動時の設定 3-24
 - コンフィギュレーション 3-23?3-26
 - システムイメージ
 - フラッシュメモリからのロード 3-27
 - ロードの必要性およびロード方法の決定 3-24
 - システムのハードウェア容量 54-6
 - ジャンボフレーム 10-11
 - 集約ラベル 25-2, 25-4
 - 受信キュー
 - QoS の受信キューを参照
 - 出力レプリケーションパフォーマンス改善 29-14
 - 冗長構成をイネーブルまたはディセーブルにするコマ
ンド 54-2
 - 冗長構成 (NSF) 7-1
 - スーパーバイザエンジンの設定 7-12
 - 設定
 - BGP 7-15
 - CEF 7-15
 - EIGRP 7-21
 - IS-IS 7-18
 - OSPF 7-17
 - マルチキャスト MLS NSF with SSO の設定 7-14
 - ルーティングプロトコル 7-5
 - 冗長構成 (RPR+) 8-1, 9-1
 - redundancy コマンド 8-7, 8-8, 9-8
 - Route Processor Redundancy Plus 9-3
 - スーパーバイザエンジン構成の表示 8-8, 9-9
 - スーパーバイザエンジンの設定 8-5, 9-6
 - 設定 8-7, 9-8
 - 冗長構成 (SSO)
 - redundancy コマンド 7-13
 - シリアルインターフェイス
 - 同期
 - メンテナンス 10-20
 - リセット 10-20
 - 資料、関連 xlv
 - 信頼できないポート機能上の DHCP Option 82 の許可
38-9
 - 信頼できないポートでの DHCP Option 82 の許可
 - 概要 38-3
 - 設定 38-9
- す**
- スイッチファブリック機能 4-3
 - 設定 4-4
 - モニタ 4-5
 - スイッチプライオリティ
 - MSTP 20-23
 - Switched Port Analyzer
 - SPAN を参照
 - スイッチの TopN レポート
 - 概要 57-2
 - 実行 57-3
 - 表示 57-3
 - フォアグラウンド実行 57-2
 - スーパーバイザエンジン
 - ROM モニタ 3-22
 - 環境のモニタ 54-11
 - 冗長構成 7-1, 8-1, 9-1
 - 冗長構成の表示 8-8, 9-9
 - スタートアップコンフィギュレーション 3-22
 - スタティックルート 3-13
 - 設定 3-1

設定の同期化 7-22, 8-8, 9-9
 デフォルト ゲートウェイ 3-13
 デフォルトの設定 3-2
 スーパーバイザ エンジンの冗長構成
 設定 7-12, 8-5, 9-6
 スケジューリング
 QoS を参照
 スタティック ルート、設定 3-13
 スタンバイ リンク 12-2
 ストーム制御
 トラフィック ストーム制御を参照
 スヌーピング
 IGMP スヌーピングを参照
 MLDv2 スヌーピングを参照
 スロット番号、説明 10-2

せ

セカンダリ VLAN 16-3
 セキュア MAC アドレスのエージング タイプ 48-13
 セキュアな sticky MAC アドレスによるポート セキュリ
 ティ 48-3
 セキュリティ
 設定 34-1, 35-1, 37-1, 45-1
 セキュリティ、ポート 48-2
 設定 42-73
 インターフェイス 3-8?3-9
 グローバルパラメータ
 設定例 3-3?3-8
 手順 3-3
 コンフィギュレーション モードの使用
 3-10?3-11
 設定例 3-2?3-12
 EoMPLS VLAN モード 25-19
 EoMPLS ポートモード 25-19, 25-22

そ

送信キュー
 QoS の送信キューを参照
 速度
 インターフェイスの設定 10-8
 ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタの機能
 3-23?3-26

た

対象読者 xli
 代替ブリッジング 23-2
 ダイナミック ARP 検査
 ARP ACL および DHCP スヌーピング エントリのプ
 ライオリティ 39-5
 ARP キャッシュ ポイズニング 39-2
 ARP スプーフィング攻撃 39-2
 ARP パケットのレート制限
 errdisable ステート 39-5
 概要 39-5
 設定 39-11
 ARP 要求、概要 39-2
 DHCP スヌーピング バインディング データベース
 39-3
 DoS 攻撃、防止 39-11
 man-in-the-middle 攻撃、概要 39-3
 インターフェイスの信頼状態 39-3
 概要 39-2
 機能 39-3
 設定
 着信 ARP パケットのレート制限 39-5, 39-11
 ログ システム メッセージ 39-15
 ログ バッファ 39-14, 39-16
 設定時の注意事項 39-7
 デフォルトの設定 39-6
 統計情報
 表示 39-17
 リセット 39-17
 ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイ
 スの信頼状態 39-3
 廃棄パケットのロギング、概要 39-5
 表示
 ARP ACL 39-17
 信頼状態とレート制限 39-17
 設定内容と動作状態 39-17
 統計情報 39-17
 ログ バッファ 39-17
 有効性検査、実行 39-12
 リセット
 統計情報 39-17
 ログ バッファ 39-17
 レート制限の超過による errdisable ステート
 39-5
 ログ システム メッセージ
 設定 39-15

- ログバッファ
 - 設定 39-14, 39-16
 - 表示 39-17
 - リセット 39-17
- タイムドメイン反射率計
 - TDR を参照
- 大容量電源のサポート 54-4
- 脱退処理、IGMP
 - イネーブル化 31-14
- 脱退処理、MLDv2
 - イネーブル化 30-13
- 単一方向イーサネット
 - UDE を参照
 - 設定例 24-6

て

- 手順
 - インターフェイス、設定 3-8?3-9
 - グローバルパラメータ、設定 3-3?3-8
 - コンフィギュレーション モードの使用 3-10?3-11
- デフォルト VLAN 11-11
- デフォルトゲートウェイ、設定 3-13
- デフォルトのNDE設定 51-9
- デフォルトの設定
 - 802.1X 47-6
 - Flex Link 12-3
 - IP MMLS 29-8
 - MSTP 20-16
 - UDLD 50-4
 - VTP 14-6
 - 音声 VLAN 17-6
 - スーパーバイザエンジン 3-2
 - ダイナミック ARP 検査 39-6
- デュプレックスモード
 - インターフェイスの設定 10-8
- 電源管理
 - 概要 54-2
 - システムの所要電力、9 スロットシャーシ 54-5
 - 冗長構成のイネーブル化またはディセーブル化 54-2
 - モジュールの電源切断および電源投入 54-4
- 転送遅延時間
 - MSTP 20-25
- 転送遅延時間、STP 21-35

と

- 統計情報
 - 802.1X 47-17
- 独立 VLAN 16-3, 16-4
- 独立ポート 16-3
- トラフィックストーム制御
 - 概要 40-2
 - コマンド
 - ブロードキャスト 40-5
 - スレッシュホールド 40-2
 - モニタ 40-7
- トラフィックフラッディングのブロック 41-1
- トラフィック抑制
 - トラフィックストーム制御を参照
- トランク 11-3
 - 802.1Q の制約事項 11-7
 - DTP をサポートしない装置 11-5
 - VLAN 1 の削除 11-12
 - インターフェイスのデフォルト設定 11-9
 - カプセル化 11-4
 - 許容 VLAN 11-12
 - 異なる VTP ドメイン
 - 設定 11-9
 - デフォルト VLAN 11-11
 - ネイティブ VLAN 11-11
 - トランクでサポートされるポートセキュリティ 48-4, 48-5, 48-6, 48-10, 48-12
 - トランスレーショナルブリッジ番号 (デフォルト) 15-7
 - トンネリング 43-4, 43-35
 - トンネリング、802.1Q
 - 802.1Q を参照 18-2

に

- 入力ブリッジド IP トラフィックに対する NetFlow および NDE 51-17
- 認証
 - ポートベースの認証も参照
- 認証、許可、アカウントティング (AAA) AAA を参照

ね

- ネイティブ VLAN 11-11

ネットワーク管理
 設定 49-1
 ネットワークのフォールトトレランス 21-15

は

バージョン 8 (NDE) 51-2
 ハードウェア レイヤ 3 スイッチング
 注意事項 27-5
 バインディング データベース、DHCP スヌーピング
 DHCP スヌーピング バインディング データベース
 を参照
 バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 DHCP スヌーピング バインディング データベース
 を参照
 パケット
 マルチキャスト 36-4
 パケット バースト 37-17
 パケット再循環 42-14
 パケットの書き換え
 CEF 27-2
 IP MMLS 29-3
 パス コスト
 MSTP 20-22
 パスワード
 暗号化 3-18
 (注意) 3-19
 イネーブル パスワードを忘れた場合の回復方法
 3-21
 設定
 enable password 3-16
 enable secret 3-16
 TACACS+ 3-18
 TACACS+ (注意) 3-18
 回線パスワード 3-17
 スタティック イネーブル パスワード 3-16
 パスワードに関する注意
 TACACS+ 3-18
 暗号化 3-19
 バックアップ インターフェイス
 Flex Link を参照

ひ

非 RPF トラフィック 29-5
 光ファイバ、単一方向リンクの検出 50-1

非集約ラベル 25-2, 25-4
 ヒストリ
 CLI 2-4
 標準準拠 IEEE 802.1s MST 20-1
 標準範囲 VLAN
 VLAN を参照

ふ

ファブリック スイッチング モード
 SFM を参照
 フィルタ、NDE
 宛先 TCP/UDP ポート、指定 51-20
 宛先ホストフィルタ、指定 51-21
 概要 51-7
 送信元ホストおよび宛先 TCP/UDP ポート
 51-20
 プロトコル 51-21
 不揮発性ランダムアクセス メモリ
 NVRAM を参照
 複数の転送パス 21-15
 複数のパス RPF チェック 34-3
 不適合
 QoS、不適合を参照
 プライオリティ
 CoS の変更 17-8, 17-9
 プライベート VLAN 16-1
 IP アドレッシング 16-5
 SVI 16-6
 エンドステーションへのアクセス 16-4
 コミュニティ VLAN 16-3, 16-4
 サブドメイン 16-2
 セカンダリ VLAN 16-3
 設定 16-12
 VLAN、プライベート VLAN として設定
 16-12
 セカンダリ VLAN とプライマリ VLAN
 16-13
 セカンダリ VLAN 入力トラフィックのルー
 ティング 16-14
 プロミスキャス ポート 16-16
 ホスト ポート 16-15
 設定時の注意事項 16-7, 16-9, 16-12
 独立 VLAN 16-3, 16-4
 トラフィック 16-6
 複数のスイッチにまたがる 16-5
 プライマリ VLAN 16-3

- ポート
 - コミュニティ 16-3
 - 設定時の注意事項 16-9
 - 独立 16-3
 - プロミスキャス 16-3
 - モニタ 16-18
 - 利点 16-2
 - プライマリ VLAN 16-3
 - プライマリ リンク 12-2
 - フラッシュ メモリ
 - 書き込み保護 3-27
 - システム イメージのロード 3-27
 - セキュリティ上の注意事項 3-27
 - 設定プロセス 3-28
 - ルータの起動元としての設定 3-28
 - フラッシュ メモリ カードに関するセキュリティ上の注
意事項 3-27
 - フラッドイングのブロック 41-1
 - ブリッジ ID
 - STP ブリッジ ID を参照
 - ブリッジ グループ 23-2
 - ブリッジ プライオリティ、STP 21-33
 - ブリッジ プロトコル データ ユニット
 - BPDU を参照
 - ブリッジ用 スパニング ツリー プロトコル 23-2
 - プルーニング、VTP
 - VTP、プルーニングを参照
 - フレーム 分散
 - EtherChannel、ロード バランスを参照
 - フロー
 - IP MMLS
 - 部分的小および完全 スイッチング 29-4
 - フロー マスク
 - IP MLS
 - destination 51-3
 - destination-source 51-3
 - destination-source-interface 51-3
 - full 51-3
 - full-interface 51-3
 - 概要 51-3
 - 最小 51-12
 - フロー 制御 10-15
 - ブロードキャスト ストーム
 - トラフィック ストーム 制御を参照
 - ブロッキング ステート、STP 21-8
 - プロトコル トンネリング
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリングを参照 19-2
 - プロミスキャス ポート 16-3
- ## ほ
- ポート
 - デバウンス タイマーの設定 10-16
 - ポート コスト、STP 21-31
 - ポート セキュリティ
 - sticky MAC アドレス 48-3
 - sticky セキュア MAC アドレスのイネーブル化
48-11
 - 違反 48-2, 48-3
 - エージング 48-13, 48-14
 - 概要 48-2
 - 設定 48-6
 - デフォルトの設定 48-4
 - 表示 48-15
 - ポート セキュリティの MAC 移行 48-2
 - ポート デバウンス タイマー
 - イネーブル化 10-16
 - ディセーブル化 10-16
 - 表示 10-16
 - ポート ネゴシエーション 10-10
 - ポート プライオリティ
 - MSTP 20-21
 - ポート プライオリティ、STP 21-29
 - ポート ベースの QoS 機能
 - QoS を参照
 - ポート モード 25-18
 - ポート チャネル
 - EtherChannel を参照
 - switchport trunk encapsulation dot1q 13-6
 - ポートベースの認証
 - EAP 要求 / アイデンティティ フレーム 47-3
 - EAPOL 開始フレーム 47-3
 - イネーブル化
 - 802.1X 認証 47-8, 47-9
 - 定期的な再認証 47-11
 - 開始およびメッセージ交換 47-3
 - 概要 47-2
 - カプセル化 47-3
 - クライアント、定義 47-2
 - スイッチ
 - RADIUS クライアント 47-3

プロキシ 47-3
 ステータスの表示 47-17
 設定
 RADIUS サーバ 47-10
 クライアント認証の初期化 47-12
 クライアントの手動での再認証 47-12
 スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 47-9
 スイッチとクライアント間の EAP 要求フレーム再送信時間 47-14
 スイッチとクライアント間の再送信時間 47-13
 スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 47-15
 スイッチと認証サーバ間の再送信時間 47-14
 待機時間 47-12
 設定時の注意事項 47-7
 装置の役割 47-2
 デフォルト値へのリセット 47-16
 デフォルトの設定 47-6
 トポロジー、サポート対象 47-5
 認証サーバ
 RADIUS サーバ 46-3, 47-3
 定義 47-3
 ポート
 許可および無許可 47-4
 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 47-4
 方式リスト 47-8
 補助 VLAN
 音声 VLAN を参照
 ホスト ポート
 種類 16-3
 ホットスワップ
 OIR を参照
 ポリシー 42-65
 ポリシー マップ 42-73
 インターフェイスへの付加 42-80
 ポリシーの適用 46-6
 ポリシーベースルーティング
 PBR を参照
 ポリシング
 QoS ポリシングを参照

ま

マークダウン
 QoS のマークダウンを参照
 マニュアルの構成 xlii
 マルチキャスト
 IGMP スヌーピング 31-11
 MLDv2 スヌーピング 30-11
 NetFlow 統計情報 51-9
 PIM スヌーピング 32-5
 RGMP 33-2
 概要 31-2
 非 RPF 29-5
 マルチキャスト RPF 29-2
 マルチキャスト グループ
 加入 31-2
 脱退 30-6, 31-4
 マルチキャスト グループ、IPv6
 加入 30-4
 マルチキャスト ストーム
 トラフィック ストーム制御を参照
 マルチキャスト フラッディングのブロック 41-1
 マルチキャスト マルチレイヤ スイッチング
 IPv4 MMLS を参照
 マルチキャスト レプリケーション モード検出拡張機能 29-12
 マルチキャスト拡張機能 – 出力レプリケーション パフォーマンス改善 29-14
 マルチキャスト拡張機能 – レプリケーション モード検出 29-13
 マルチキャスト、ルーティング テーブルの表示 29-20
 マルチレイヤ MAC ACL QoS フィルタリング 42-66
 マルチレイヤ スイッチ フィーチャ カード
 MSFC を参照

も

 モニタ
 Flex Link 12-4
 プライベート VLAN 16-18

ゆ

 ユーザ EXEC モード 2-6
 ユーザ ベースのレート制限 42-21, 42-77
 ユニキャスト RPF 34-3

- ユニキャスト ストーム
 - トラフィック ストーム制御を参照
- ユニキャスト フラッディングのブロック 41-1
- ユニキャストおよびマルチキャスト フラッディングのブロック 41-1

- よ
- 予約範囲 VLAN
 - VLAN を参照

- ら
- ラベル エッジ ルータ 25-2
- ラベル スイッチ ルータ 25-2, 25-4

- り
- 略語リスト A-1, B-1
- リンク ネゴシエーション 10-10
- リンク障害
 - 単一方向の検出 20-8
- リンク冗長性
 - Flex Link を参照

- る
- ルーティング テーブル、マルチキャスト 29-20
- ルート ガード
 - STP ルート ガードを参照
- ルート スイッチ
 - MSTP 20-19
- ルートブリッジ、STP 21-27
- ループ ガード
 - STP ループ ガードを参照

- れ
- 例
 - グローバル パラメータの設定 3-3
 - コンフィギュレーション
 - インターフェイス 3-8?3-9
 - ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ 3-23?3-26
- レイヤ 2
 - show interfaces 10-14, 10-15, 11-8, 11-13
 - VLAN
 - インターフェイスの割り当て 15-13
 - インターフェイス モード 11-5
 - インターフェイスの設定 11-8
 - アクセス ポート 11-15
 - トランク 11-9
 - スイッチング
 - 概要 11-2
 - デフォルト 11-6
 - トランク
 - 概要 11-3
- レイヤ 3
 - IP MMLS および MLS キャッシュ 29-2
- レイヤ 2 traceroute 58-1
 - 1 つのポート上の複数の装置 58-3
 - ARP 58-2
 - CDP 58-2
 - IP アドレスおよびサブネット 58-2
 - MAC アドレスおよび VLAN 58-2
 - 概要 58-2
 - 使用上の注意事項 58-2
 - マルチキャスト トラフィック 58-2
 - ユニキャスト トラフィック 58-2
- レイヤ 2 インターフェイス
 - 設定 11-1
- レイヤ 2 再マーキング 42-17
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング
 - 概要 19-2
 - レイヤ 2 トンネリングの設定 19-3
- レイヤ 3 スイッチド パケットの書き換え
 - CEF 27-2
- レイヤ 3 スwitching
 - CEF 27-2
- レイヤ 4 ポート演算 (ACL) 35-7
- レプリケーション モード検出 29-13
- レポート、MLD 30-4
- レンジ
 - インターフェイス 10-5
 - コマンド 10-5
 - マクロ 10-7

ろ

ローカル出力レプリケーション 29-14

ロードバランス 21-15, 25-8

論理演算ユニット

LOU を参照